#### 多彩!教室で活躍するJET-ALT

| 1    | 取組の主 | È体 | 取組の対象 |  |    |    |   |  | 地域の国際化 |  |  | 特色ある取組 |     |         |
|------|------|----|-------|--|----|----|---|--|--------|--|--|--------|-----|---------|
| JET- | 任用   |    | 児童·生徒 |  |    |    | 教 |  | 異文化    |  |  |        | 配置の | デジタルツール |
| ALT  | 団体   |    |       |  | 中学 | 高校 | 員 |  | 理解     |  |  |        | 工夫  | の活用     |

# No.9 JET-ALTを増員し「グローバル人財」を育成

実施時期:令和4年~現在

任用団体名:茨城県

## 取組のポイント

- JET-ALTを中高一貫教育校等に複数配置し、授業内外で新たな活用方法を取り入れる。
- 県の事業においてJET-ALTを積極的に活用。
- JET-ALTとして複数年勤務した希望者からネイティブ英語教員を選考。

#### 任用団体の基本情報

人口: 2,828,848人

※令和5年4月1日現在

JETプログラム参加者の人数: (ALT) 59人(CIR) 4人(SEA) 0人

学校数:高等学校94校、中等教育学校3校、中学校10校

### 取組の背景・課題

本県では県立高等学校改革プランの下、令和2年度から令和4年度の間に県立中等教育学校が1校、併設型県立中高一貫教育校が9校新たに設置され、県立中高一貫教育校が合計で13校となった。

これらの中高一貫教育校では探究活動・グローバル教育・科学教育等に重点をおいた教育活動が実施されることに伴い、令和元年度は県に40人いたJET-ALTを令和5年度の64人まで段階的に増員し、中高一貫教育校等の重点校に複数配置している。

## 取組の内容

- 1. 各学校におけるJET-ALTの活用事例
- JET-ALTが自分の大学時代の専攻を生かし、英語で他教科の授業をサポート (実施例)生物基礎の授業で英語での講義を行う。 中学生の理科の実験を英語で行う。
- オールイングリッシュによるディベートやディスカッションの授業 (ディベート論題例) 「知性は創造性に勝るか?」
- 長期留学からの帰国生徒/海外大学進学を希望する 生徒に対する授業外の個別指導

-○ JET-ALTが中心となって海外の姉妹校とZOOM生徒交流

JET-ALTの専攻を生かした細菌の 。 遺伝子組み換え実験の様子

#### 取組の内容 (続き)

- ○ウィークエンド・ライターズ・クラブ
  - JET-ALTが与えたテーマについて、毎週末、生徒がエッセイを書いて添削を受ける活動
- イングリッシュ・カフェ/イングリッシュ・ランチタイム
  - 出身国の文化に関するレクチャーを放課後に実施
  - JET-ALTが生徒と昼食を食べながら英会話
- 校内の英語教員研修にJET-ALTを活用
  - JET-ALTを交えて定期的に英語で行う教科会
  - JET-ALTチームと日本人教員チームで英語ディベート
  - JET-ALTの出身国の試験問題を参考とした作問研究



JET-ALTチーム対日本人教員 チームの英語ディベートの様子

- 2. 県の事業におけるJET-ALT活用事例
- ○茨城県高校生国連大学グローバルセミナー
  - 国連大学と連携した全10回のプログラム
  - 7人のJET-ALTがラーニングメンターとして SDGsについてレクチャーし、リサーチスキル、 ディスカッションスキル、プレゼンテーション スキルの研修を行う。
  - 教材はJET-ALTの自作。毎年内容を更新しながらJET-ALT間で共有している。



JET-ALTが作成した高校生国連大学グローバルセミナーのウェブサイトより

- ○茨城県高校生英語ディベート大会
  - 今年度は全審査員22人のうち、10人がJET-ALT。うち2人のJET-ALTは運営委員として事前の計画・準備にも携わり、全国大会の審査も行った。
- 3. ネイティブ英語教員への登用
- ○通算2年以上の勤務実績を有するJET-ALTのうち、希望する者は公立学校教員特別選考試験を受験可能
  - 現在4人の元JET-ALTがネイティブ英語教員(講師)として県立高校・中等教育学校に勤務している。

## 取組の成果・今後の展望

重点校へのJET-ALTの複数配置が計画どおりに実施できたのは、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年8月になってからであるが、先行して配置された学校からは「英語資格試験での平均スコア向上」「英語の各種大会入賞」等の成果が報告されている。また、令和4年度英語教育実施状況調査では「CEFR A2レベル相当以上を取得している生徒」の割合が前年度比で大きく向上した。

今後は各校における成果を分析しながら、JET-ALT活用協議会等を通して先進的な好事例の共有を図り、授業内外でのJET-ALTの積極的な活用を更に促進していきたい。

#### 問合せ先

担当部署名:茨城県教育庁学校教育部高校教育課

TEL: 029-301-5260

MAIL: kokyo@pref.ibaraki.lg.jp

URL: https://kyoiku.pref.ibaraki.jp/gakko/highschool/

